

平成24年度概算要求事業と要望事業

24概算要求の考え方

24概算要求・要望の事業

一層厳しさを増す安全保障環境や東日本大震災における教訓を踏まえ、防衛大綱及び中期防に基づき、動的防衛力の構築に向けた、効果的かつ効率的な防衛力整備を着実に実施

- 実効的な抑止及び対処**
- 周辺海空域の安全確保
 - ・護衛艦(DDH)、潜水艦(SS)の建造、沖永良部島の固定式警戒管制レーダーの換装
 - 島嶼部に対する攻撃への対応
 - ・沿岸監視部隊の配置等(与那国島)
 - ・那覇基地における早期警戒機(E-2C)の整備基盤整備
 - ・次期戦闘機(F-X)、次期輸送機(C-2)の取得等
 - ・方面隊実動演習(島嶼防衛に係る海空自と陸自との連携要領等の訓練を実施)
 - サイバー攻撃等への対処体制の充実・強化
 - ゲリラや特殊部隊による攻撃への対応
 - ・遠隔操縦式小型偵察システムの研究、ヘリの取得 等
 - 大規模・特殊災害等への対応
 - ・NBC偵察車の取得、災害対処訓練の実施等
 - 弾道ミサイル攻撃への対応
- アジア太平洋地域の安全保障環境の一層の安定化**
- 防衛協力・交流、共同訓練・演習の推進
 - アジア太平洋地域での多国間協力推進 など
- グローバルな安全保障環境の改善**
- アデン湾における海賊対処の継続 など
- 上記のほか、宇宙・情報通信関連事業、部隊・機構改編、教育・研究体制の強化、基地対策の推進など

これらの事業を実施するための経費

装備品等の購入など取得までに複数年を要する事業

後年度負担
(24年度の歳出なし)

一般物件費
(修理費、燃料費、光熱水量費など維持的な経費等)

主にここから要望事業を選定

人件・糧食費

23年度以前に契約した装備品等の購入・維持修理など

歳出化経費

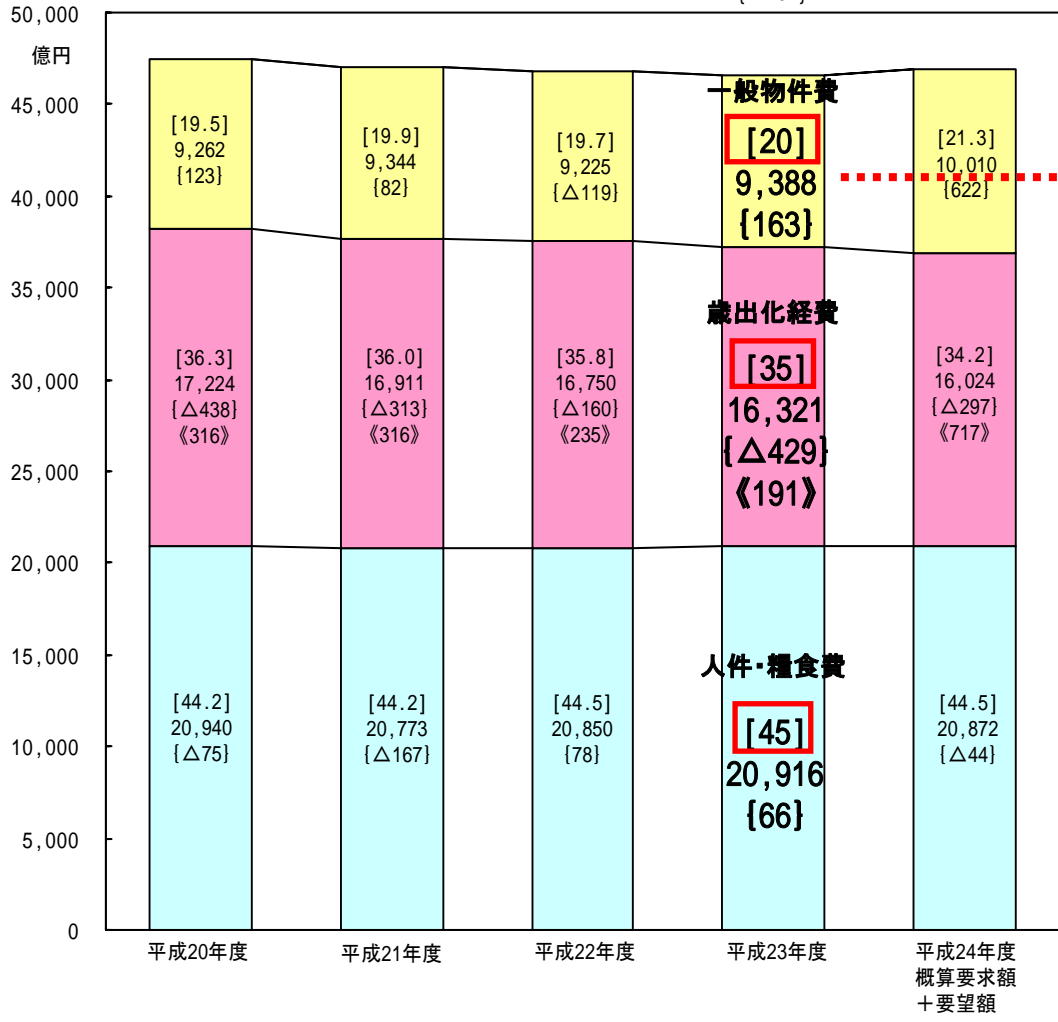
防衛関係費の推移

一般物件費
 歳出化経費
 人件・糧食費

() : 対前年度伸率 (%)
 [] : 歳出予算の構成比 (%)
 { } : 対前年度増△減額
 《 》 : 繰延べ

平成23年度防衛関係費

(0.8) (0.8) (0.4) (0.4) (0.6)
 47,426 47,028 46,826 **46,625** 46,906
 { 389} { 398} { 202} { 201} { 281}



一般物件費(活動経費)の内訳

29

一般物件費の内訳

(単位：億円)

項目	平成23年度 予算額	平成24年度 概算要求額 + 要望額	対前年度 増△減額
維持費等	4,148	4,486	338
・油購入費	932	1,224	292
・修理費	1,784	1,756	△27
・教育訓練費	271	274	3
・医療費等	245	251	6
・営舎費等(光熱水料、燃料費等)	916	979	64
基地対策経費等	3,898	4,119	221
・周辺環境整備、住宅防音	908	993	85
・在日米軍駐留経費負担	1,703	1,757	55
・施設の借料、補償経費等	1,287	1,368	81
研究開発費	255	255	1
装備品等購入費等	215	299	84
施設整備費等	197	198	1
その他(電子計算機等借料等)	676	654	22
合計	9,388	10,010	622

注1：SACO関係経費及び米軍再編関係経費のうち地元負担軽減分を除く。
 2：平成24年度には要望額として960億円を計上している。

注：SACO関係経費及び米軍再編関係経費のうち地元負担軽減分を除く。